

〈続報〉

THE EUGENE Studio 1/2 Century later.

展示作品のご紹介

資生堂ギャラリーでは、2017年11月21日(火)から12月24日(日)まで、THE EUGENE Studio の個展『1/2 Century later.』を開催します。本展では、「破壊から再生へ」をテーマに、展覧会を終えるとともに「半世紀」が経過する1968年と現在のあいだ、『1/2 Century later.』(あれから半世紀 あるいはこれから半世紀)をひとつのモチーフとし、新作インスタレーションと平面作品を中心とした展示を行います。開幕に際して、本展の中心作品となる White Paintingシリーズをご紹介します。本作品は、展示空間中央の大きなインスタレーションと対をなして、破壊的イメージから再生的イメージへの移行を表すものとして構成されています。※

本作品は、街行く人に声を掛け、キャンバスに接吻をしてもらうというシンプルなもので、現在、アメリカ、メキシコ、台湾などの国・地域で行われ、既にこれに参加した人びとは合計で600人を超えています。(1枚のキャンバスはおおよそ50-100人程度。)ロサンゼルスにおける10日間のうち、2日間の模様をドキュメントしたショートフィルムにあるように、人びとはキャンバスに接吻をしたあとに、次々に愛について語っています。

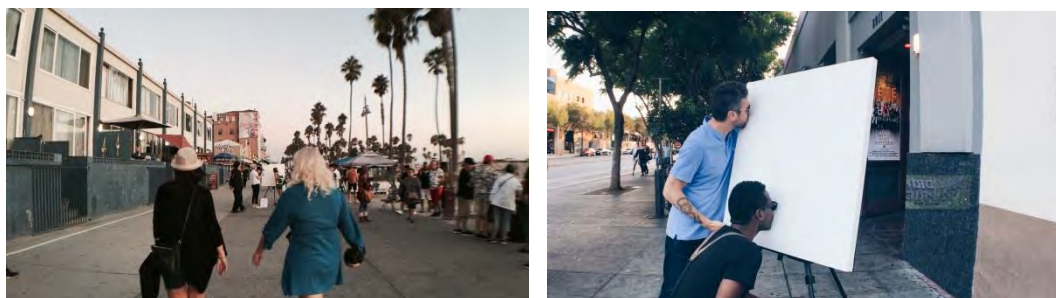


White Painting in Los Angeles

映像:Migan Elenor Clark (ポートランド)

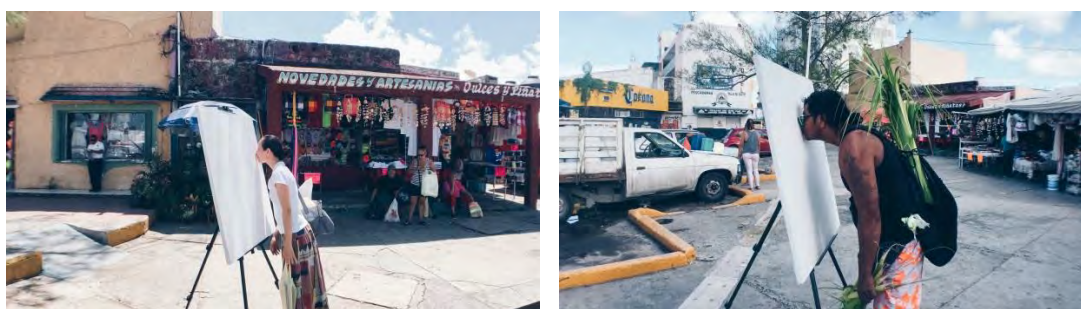
動画 URL <https://vimeo.com/243737413>

1日で最も多い場合は50人程度の人々が共感し、参加するこの作品は、国家や宗教、種族、組織など、グローバルレベルでの大きな単位での分断—例えばブレグジット、国境の壁、難民問題などに対抗するかのように、小さな共同体単位で成立する、連動、つながりの大きな可能性を感じさせます。



Still from Series of White Painting. ロサンゼルスでの風景

またこの作品の特徴は、西欧の美術史とも関係し、様々な解釈ができるところにあります。例えば、この行為は、ロシア正教やキリスト教で見られる聖像(イコン)への接吻行為と非常によく似ています。しかし、この作品には何も描かれておらず、信仰すべき対象もありません。あるいは絵画と鑑賞者の関係へも迫ります。絵画に直に触れることは、どのような体験なのでしょう。またこのことは、見方を変えれば、人間の記録でもあり、それらを絵画を通じて収集することの意味を考えさせます。あるいは、アクションペインティングのように、この接吻自体をひとつの筆致のように見ることもできます。何も描かれていないように見えるこの作品は、アートの様々な奥行きを感じさせることでしょう。



Still from Series of White Painting. メキシコでの風景

その他にも、THE EUGENE Studio がこれまで手がけてきたプロジェクトの設計図であるドローイング作品などを展示します。

資生堂は美しい生活文化の創造を使命とし、資生堂ギャラリーの活動を通じて時代の新しいアートが反映する未来像を世の中と共有することで社会の新しい価値観を私たちの生活文化の創造へと結びつけてきました。本展が多くの人々にとっての未来地図を更新する端緒となることができれば幸いです。

※この White Painting の前面、つまり展示空間中央には、映画の一シーンの、風化された状態の彫刻インスタレーションが横幅 10m、縦 3m、高さ 3m ほどのサイズのガラスケースに入って展示され、その対角線上に、White Painting は置かれています。このインスタレーションは、組み立てて壊されることを繰り返されたオブジェであり、鑑賞者に破壊的なイメージを連想させるでしょう。そして、その前景にある White Painting は、それらの破壊を乗り越えた新たな再生を表します。

■プロフィール

THE EUGENE Studio

THE EUGENE Studio(ザ・ユージーン・スタジオ)は日本を拠点に、現代美術を中心にインスタレーションや平面、映像作品などを手がける。過去にサーペンタインギャラリー(ロンドン)でのプロジェクトや国内での個展、近年ではアメリカ三大 SF 賞受賞の小説家ケン・リュウとの共同制作のほか、人工知能や都市、バイオテクノロジー領域の共同研究等に招聘され、また今年出版された『アート×テクノロジーの時代』(光文社新書、宮津大輔)では、チームラボ、タクラムらと日本を代表する四社として特集されるなど大きな注目を集めている。創業者の Eugene Kangawa は 1989 年アメリカ生まれ。



■関連企画

ギャラリートーク

『若林恵(WIRED 日本版 編集長)×岩渕貞哉(美術手帖 編集長)×Eugene Kangawa (THE EUGENE Studio)』

日本のカルチャーシーンを代表するメディアの編集長二名とTHE EUGENE Studio の Eugene Kangawaによる鼎談を行います。

日時: 12月 9日(土) 14:00-16:00

会場: 花椿ホール (資生堂銀座 ビル3 階)

定員 100 名 参加費無料 (お申し込み多数の場合は抽選となります)

11月21日(火)より、資生堂ギャラリーウェブサイトにて申込み受付。

お問い合わせ: 資生堂ギャラリー tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

■ 「THE EUGENE Studio 1/2 Century later.」開催概要

主催:株式会社 資生堂

展示協力:ザ・ユージーン・スタジオ株式会社

協賛:株式会社ゴールドウイン、NEUTRALWORKS.

協力:Object of Null、Scovil Galen Ghosh Literary Agency.、

エートス法律事務所 弁護士 近藤信幸(本展リーガルアドバイザー)

植原亮輔(本展グラフィックデザイン)

会期: 2017年11月21日(火)~12月24日(日)

会場:資生堂ギャラリー

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-8-3 東京銀座資生堂ビル地下 1階

tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951

URL: <http://www.shiseidogroup.jp/gallery/> (資生堂ギャラリー)

平日 11:00~19:00 日・祝 11:00~18:00 毎週月曜休

(月曜日が祝日にあたる場合も休館)

入場無料

本展に関するお問い合わせ先	〒104-0061 東京都中央区銀座 7-5-5 株式会社 資生堂 企業文化部 担当:伊藤 tel. 03-3575-5432 fax. 03-3575-5429 (10:00~17:00 土日祝休) e-mail: kenichiro.ito@to.shiseido.co.jp
写真資料請求先	資生堂ギャラリー 担当:永田・大橋 tel. 03-3572-3901 fax. 03-3572-3951 (11:00~18:00 月曜休) e-mail: ayako.nagata@to.shiseido.co.jp noriko.ohashi@to.shiseido.co.jp